

長野県北部を震源とする地震 観光産業関連の被害状況調査

平成 26 年 11 月 24 日 18 時 00 分

白馬村災害対策本部（観光商工部）

1. 調査の概要

- (1)調査期間 平成 26 年 11 月 23 日（日）から 11 月 24 日（月）まで
- (2)調査項目 ①従業員及びお客様の被災状況、②施設の被害状況、③物品（商品）の被害状況、④営業（キャンセル、休業、売上等）への影響等
- (3)調査対象 村内で営業する観光関連事業者（延べ 1,430 事業者、うち宿泊施設：1,120、スキー場：5）（報道発表時に補足した事項：調査対象の実数は宿泊施設が約 600、飲食・小売業が約 100）
- (4)調査方法 ・観光関連組織（白馬村観光局、白馬商工会、白馬村索道事業者協議会、白馬さのさか観光協会、白馬五竜観光協会、八方尾根観光協会、白馬岩岳観光協会）へ上記調査項目に関する加盟施設の状況把握を依頼（11/23 09:00 FAX）
・観光関連組織では、加盟施設の状況を取りまとめ、対策本部へ報告（報告期限：11/24 13:00）
- (5)回答総数 134 事業所（うち宿泊施設：105、スキー場：5、飲食・小売：18、温泉：1、その他：5）（報道発表時に補足した事項：白馬五竜観光協会からは加盟宿泊施設 95 をまとめて大きな被害なしとの報告を受けている、したがって回答総数は 229）

2. 調査結果（概要）

- (1)特に被害が甚大であった東部地区（三日市場、堀之内地区）の状況
- ・三日市場地区の宿泊施設は 3 軒、うち全壊が 1 軒、一部損壊が 2 軒
 - ・堀之内地区の宿泊施設は 2 軒、いずれも全壊、小売店 1 軒は半壊
- (2)その他地区等の状況
- ①共通事項（※回答のあったもののみ、(1)の地区は除く）
- ・従業員及びお客様に負傷はない
 - ・回答があった被害想定額の合計は 23,000 千円（45 事業所）
 - ・塩の道温泉を除き、営業に支障をきたす被害はない
- ②宿泊施設
- ・食器類の落下、破損、内外壁へのヒビ、浴室・トイレのタイル剥離といった比較的軽微なものが多くを占め、施設・設備に関する大きな被害はなく、いずれの被害もなかった施設は 24
 - ・二つの宿泊施設において客室の天井が落下したが、宿泊客不在のため負傷者はなし

- ・キャンセルのあった施設は9施設で、地震発生日から数日間の宿泊予約が主なもの
- ・一つのホテルでは、11月23日から26日までの宿泊予約の約60%にキャンセルが発生、その影響額は約2,200千円

③スキー場

- ・スキー場は、白馬岩岳スキー場で被害（ゲレンデへの土砂流出）が確認されたが、復旧に時間を要するものではないので、早期に復旧可能
- ・他のスキー場では、索道施設・ゲレンデ・レストハウス等に被害は確認されなかった
- ・白馬岩岳スキー場を含め村内5スキー場では、施設・設備の安全が確認され、降雪があればいつでもオープンできる状況

④飲食・小売施設

- ・陳列棚の商品が落下、破損したケースが主なもので、営業に支障をきたすような被害はない

⑤塩の道温泉

- ・源泉からくみ上げができていない状況（原因調査中）